

大軍拡・大增税ストップ

憲法・平和
くらしを壊す「新しい戦前」にさせないことこそ政治の役割

私がなぜ戦争を許すことができないのか。戦争がひとたび始まってしまうと、弱い立場の人びとから真っ先に犠牲になるからです。自民党は「自分の国は自分たちで守る」ために敵基地攻撃能力（反撃能力）が必要だと言いますが、実態は、アメリカのいいなりで自衛隊が外国に攻め込む軍事力なのです。「もう二度と戦争はしない」と世界に誓った憲法9条をないがしろにする暴挙は絶対に許されません。日本を世界第3位の軍事大国にするお金があるなら、私たちの暮らしに、医療や福祉・教育に回しましょう。党をつくって101年目、戦前の激しい弾圧に屈せず戦争反対を貫いてきた日本共産党に、あなたの平和への願いを託してください。

どんな障害があっても、自分らしく ふつうに暮らせる社会へ



日本共産党八王子市議団は実現します

あなたの声をきかせてください

- あたたかい給食実現
今度は給食費を無償に
- 18歳までの子どもの医療費
完全無料化
- 学校体育館エアコン全校設置へ
- 障害児の移動支援充実を
- 国保税引き下げ
子どもの均等割り負担軽減
- 補聴器の購入補助を
- ジェンダー平等の推進
- 未来に地球を残す
本気の気候危機対策を再エネ普及
- UR賃貸住宅の家賃減免
- みなみ野とめじろ台をつなぐバス路線づくり
- 福祉作業所の家賃補助削減やめさせます
- 職員配置基準の改善

子育て応援！ 3つのゼロ

給食費ゼロ、医療費ゼロ、国保税ゼロ

わたばやし ゆか



あなたの
声
が
政治
を
変
え
る

八王子市は全国や東京都よりも合計特殊出生率が低い状況が続いています。経済的な状況で子どもを産み育てることをあきらめない街、子育てしやすい街を実現します。

1

給食費ゼロ

公立小中学校の

全国で給食無償化に向けた動きが進んでいます。八王子市では約15億6千万円、第3子以降に限れば約1500万円で実現可能です。

2

医療費ゼロ

18歳までの子どもの

今年4月から東京都で医療費無料化が始まります。23区と同じく所得制限や、15歳以下の1回200円の窓口負担もなくしましょう。

3

国保税ゼロ

均等割負担軽減

子どもの均等割の負担を軽減し、18歳までの子どもの負担ゼロを目指します。

共産党議員団のがんばりが光った 障害児の移動支援

「自分が病気になったり、急用ができると、子どもが学校に行けなくなる」——障害のある子を育てる家族の声にこたえて、アオヤギ有希子市議（当時）ら共産党市議団が、ガイドヘルパーの移動支援を十数回にわたってねばり強く提案。その結果、一部ですが実現できました。声を上げ続ければ政治は変わるんだと実感しました。今度は中学生から小学生まで対象を広げ、通学や放課後デイなどで日常的に利用できるようにします。

いくつになっても 高齢者のための3つの安心 安心して暮らせるまちづくり

1

補聴器購入補助制度を八王子に

加齢性難聴は認知症の最大のリスク。補聴器を使うことが予防につながります。しかし高額な購入費用が足かせになっています。全国や都内で広がる購入補助制度を八王子でもつくりましょう。

2

高すぎる国保税値上げストップ

八王子市では5年連続値上げにより、多摩地域で最も高い国保税に。今年こそ、加入世帯の家計を苦しめる値上げをやめさせましょう。

3

地域公共交通機関の充実

住宅街を走る路線バスは免許返納した高齢者にとって、なくてはならない移動手段です。地域の声をあつめ、増便や路線拡充をすすめます。小さなお困りごとなんでもお寄せください。

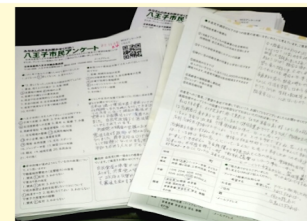
市民の願い実現に全力投球

昨年11月から市内5万世帯を対象に行なっている市政アンケートには、これまでに800人以上の回答があります（ネットでの回答ふくむ）。くらしの実態や政治への要望とともに、バス路線や道路改修、交通安全など、身近なお困りごと多数寄せられています。こうした要望を都や市などに届けて実現をめざしてきました。これからも安心して暮らせる街へ、一杯とりくみます。



これまでの取り組み

アオヤギ都議と共に山田川沿いの高木伐採を要望し、実現しました。



館ヶ丘団地のみなさんとURに家賃減免を求める要望書提出（昨年12月）



宅の家賃減免
国土交通省のヒアリング

がんばれ
わたばやし ゆか
応援隊



私と同じくらいの歳で、同じ女性、障害者の目線にも立てるといっただけで期待しています。行政サービスの民営化を見直し、全ての市民が恩恵を受けられる、公共性の高いサービスの提供を目指してほしいです。給食費無償にしましょう！

市内在住
K・W さん 子育て中の30代女性



八王子の民青同盟は様々な活動に取り組んできましたが、いつもそこにはわたばやしさんの姿がありました。仕事の合間を縫って、駆けつけてくれる姿は頼もしく、励まされています。民青の食料支援活動を通じて、八王子には生活に困っている人が数多くいることが分かります。わたばやしさんは、困難を抱えている人たちに寄り添える人です。いまの八王子には、わたばやしさんの力が必要です。



民青八王子の仲間
礒部史也 さん

わたしのあゆみ

中学高校は吹奏楽部に打ち込みました。顧問の先生に憧れて教員を目指したものの、朝早くから夜遅くまで学校で働いて心身を壊す先生の姿を見てきて、日本社会の仕組みに疑問を感じました。

若者の深刻な実態に触れて社会を変えたいとの思いがふつふつ

民青同盟員として、学生や労働者の声を聞き、要求を実現する活動にとりくんできました。若者の切実な声を聞くたびに政治を変えたい気持ちが強くなりました。

障害のある人もない人も自分らしく生きられる社会をつくりたい

大学卒業後に就職したのは重度の知的障害のある人たちの入所施設でした。興味関心はもちろん、物事の理解の仕方は一人ひとり違う中、支援員の理解が深まるほどに利用者さんの生活を豊かにできると実感しました。



食料支援活動で（一昨年から市内3ヶ所で計20回以上実施）

【わたばやしゆか 略歴】 ●1991年7月長野県上田市生まれ ●2015年法政大学キャリアデザイン学部卒業。八王子市内の知的障害者施設で7年間勤務（22年8月まで） ●2020年9月、日本共産党に入党 ●2021年民青同盟東京都委員（2023年1月まで） ●現在、日本共産党八王子地区若者雇用相談室長 ●館ヶ丘団地在住 ●趣味はファンタジー系の漫画、小説の読書



【活動地域】館町、狭間町、梶田町、寺田町、大船町、小比企町、山田町、めじろ台、台町、緑町、上野町、子安町、寺町（JR中央線南側）、万町、宇津貫町、七国、西片倉、みなみ野、兵衛

八王子民報

2023年 2,3月号外 発行峯岸益生 絹ヶ丘2-46-3
日本共産党八王子地区委員会が見解を 発表しました

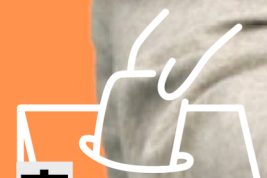
電話 642-6344
FAX 646-8055

アオヤギ有希子^{さん}から
バトンタッチ

あなたの
願いを
市政に
届ける

31さい

障害者施設
支援員
7年



市政の
選択

2023
4/23

日本共産党

わたばやし

ゆか

わたばやしゆかの活動報告ニュース「ひまわり通信」毎月発行しています
Twitter, Instagram, TikTokでも情報発信中です

わたばやしゆかのSNS公式アカウント
リンク集 linktr.ee/wata_bo_shy

